

令和3年11月29日
たつせがある課

ジブリパークを含む長久手市の資源を生かした観光について

1 本市の観光の特徴

(1) 長久手の観光資源

モリコロパークやござらっせ、あぐりん村、トヨタ博物館といった既存の観光施設だけでなく、「おしゃれな店」、「田園風景のある暮らし」、「アートのある暮らしと空間」等、心地よい一息つける日常の生活が本市オリジナルの観光資源。このような空間でのおもてなしや体験が、市民や来訪者にとって特別感のある「いい日常」となる。

(2) 一般社団法人長久手市観光交流協会の取組(抜粋)

- ① 観光サポートセンターでのおもてなし(珈琲、土産品の販売)
- ② 光の切り絵(石作神社、香流川遊歩道で開催)
- ③ スタイル講座(歴史講座、ベルギービール講座 等)
- ④ スタンプラリー(愛知県やイオン等と連携)
- ⑤ 雑人の発行(地域の歴史、店舗、人物等を紹介)
- ⑥ ふるさと納税返礼品の選定に係る協力

2 ジブリパーク開園に向けた取組

(1) ジブリパーク連絡会議の設置

市、長久手市商工会、一般社団法人長久手市観光交流協会の3者が、ジブリパーク開園に伴いモリコロパーク内で実施するおもてなし事業について検討する会議。現時点で、商工会によるイベントの実施や観光交流協会による園路での観光PRやおもてなしが予定されている。

(2) 令和3年度の具体的な取組

① 長久手市商工会

上記イベントの具体的な実施内容を検討する委員会を設置。

② 一般社団法人長久手市観光交流協会

- (i) お土産品の開発(クッキー)
- (ii) 観光交流ガイドブックの刷新
- (iii) リリモテラス公益施設での観光案内所設置